倉敷・井原・矢掛のにぎわい再生による元気な地域づくり計画【岡山県・倉敷市・矢掛町】

現状と課題

○ 倉敷市中心部の慢性的な渋滞は、美観地区をはじめとする観光客の滞在時間や周辺市町への周遊にも悪影響を及ぼしており、新たな道路ネットワークの整備が急務となっている。井原市では、農業の新たな担い手を確保するため、農畜産物の輸送効率の向上や周辺住民の生活環境を改善する広域農道の整備が急務となっている。矢掛町では、観光・交流人口の増加を図るため、施設間のアクセス改善が急務となっている。

○ これらの事業は、高梁川流域連携中枢都市圏を形成する３市町の市道、町道、広域農道を一体的に整備することにより、同時期に事業効果が発現され、圏域全体への相乗効果も期待できる不可欠な取り組みとなる。

計画の概要

【計画期間】令和７年度～令和１１年度
【計画区域】倉敷市、井原市及び岡山県小田郡矢掛町の全域

○地方創生整備推進交付金（道整備事業）

市道：1.02km、町道：0.13km、広域農道2.71km

総事業費　8,280百万円（国費 4,140百万円）
- 市道　：4,500百万円　（国費 2,250百万円）
- 町道　：　250百万円　（国費　125百万円）
- 広域農道：3,530百万円　（国費 1,765百万円）

【その他　関連事業】

- 都市再生整備計画事業（倉敷市中心市街地活性化基本計画）
- 高梁川流域連携中枢都市圏事業
- ハレいろサイクリングOKAYAMA事業
- 水車の里フルーツトピア指定管理委託事業
- 矢掛町小田川（嵐山）かわまちづくり計画事業

【デジタルの活用・連携した取組】

- 先端技術を用いたスマート農業による超省力・高品質化
- ３次元設計データ等を用いた振動ローラの自動運転など、建設現場でＩｏＴを実施

地域再生のイメージ

計画の目標

○ 道路事業の個別効果と政策間連携による一体的効果で道路ネットワークが再構築され、市町の渋滞緩和や新たな動線確保が進み、より広域へ影響のある高規格幹線道路（国道・高速道路）へのアクセスも強化されることで、観光客の増加や地域間交流の促進、農畜産物の生産地から出荷・販売拠点までの物流機能の強化等による新たな若い担い手の確保等につながる「地域の活性化」を図る。

○ 事業推進にあたっては、工事現場やぶどう生産現場へのデジタル技術の積極活用により、作業の効率化や生産性の向上を図ることで、デジタル社会の形成を目指す。

項　目	現　状	目　標
道路交通の円滑化	124分	106分
観光交流の活性化	3,045千人	3,350千人
新規就農者の増加（累計）	47人	82人